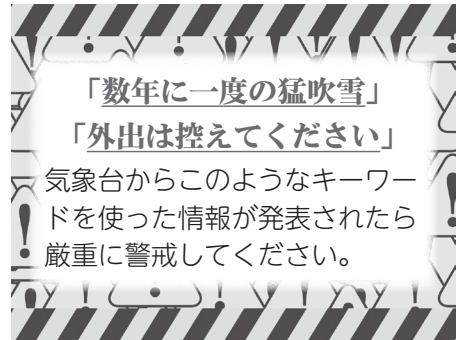


暴風雪への備えはできていますか？



暴風雪による被害に遭わないために

暴風雪による被害は、好天から悪天へと天気が急変したときに多く発生しています。テレビやラジオなどで悪天が予想されているときは、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。暴風雪が予想されているときは無理をせずに出発は避けましょう。



もしも暴風雪に遭遇してしまったら

歩行中や屋外での作業中のとき

- ・商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所に移動して天気の回復を待つ
- ・歩行中は風で飛ばされてくる物に注意する



家の中にいるとき

- ・FF式暖房機などの給排気口が塞がれていないか確認する
- ・出入り口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪する



車を運転しているとき

- 運転中に暴風雪になり視界が悪くなったときは…
 - ・道の駅、コンビニなどで天気の回復を待つ
 - ・気象情報や道路情報を確認する
- 途中で立往生をしてしまったときは…
 - ・ハザードランプを点滅させ、停止表示板を置く
 - ・JAFなどのロードサービス、近くの商店や人家などに救助を求める
 - ・避難できる場所や救助を求められる人家が近くに無いときは警察・消防に連絡して救助を求める
- 車内で救助を待つときは…
 - ・マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し一酸化炭素中毒をおこすおそれがあるので、車が雪に埋まった場合は原則エンジンを停止させる
 - ・防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときはこまめにマフラー周りを除雪する



窓を開けていても絶対に安全とは言えません。風向きや窓の開度などの条件によっては、窓を閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合があります。

冬場の停電に備える

- ・最低3日分、できれば1週間分の飲料水、食料を備蓄する
- ・懐中電灯など、電池で使える明かりを用意する
- ・停電時に情報の入手ができるようラジオを用意する
- ・携帯電話やスマートフォンを充電できるよう電池式充電器や充電用バッテリーを用意する
- ・ポータブルストーブやカセットガス式のストーブなどの電気を使用しない暖房器具、カセットコンロ、防寒着や毛布などを用意する
- ・自家発電装置がある指定避難所（北地区コミュニティセンター、公民館、総合体育館）を確認しておく

